

「がん相談支援センターの活動状況についてのアンケート」結果

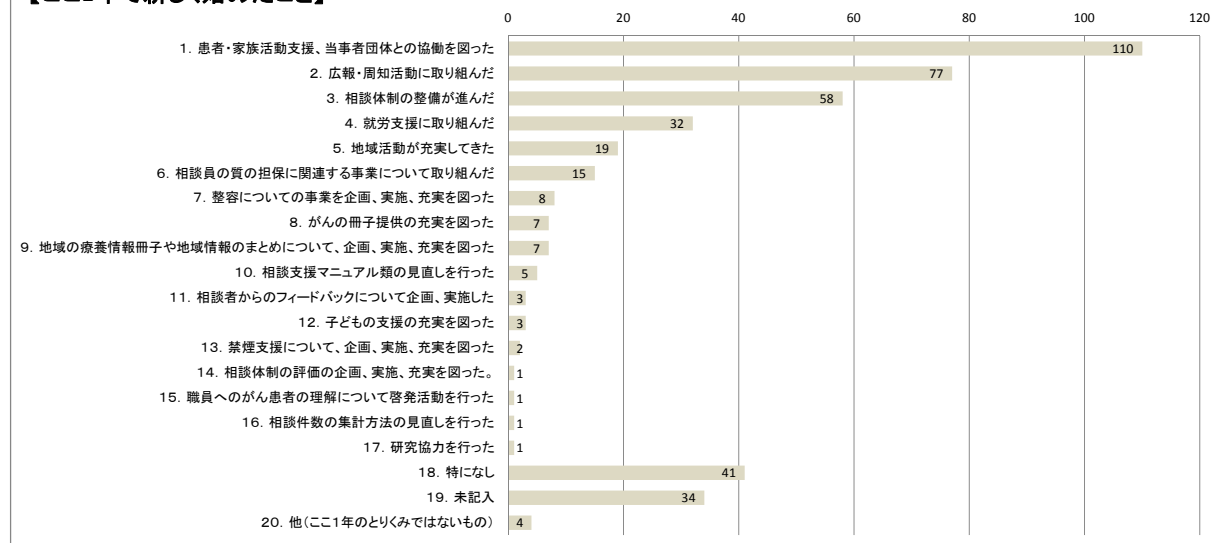
調査期間：2014年4月から5月
 回答施設数：280 / 397
 回収率：70.5%

1) 病院の所在地	2) 病院の種別	3) 回答者の立場
1. 北海道・東北地方 49	1. 都道府県がん診療連携拠点病院 51	1. 相談支援の実務者 224
2. 関東地方 61	2. 地域がん連携拠点病院 228	2. 相談支援部門の責任者 56
3. 中部地方 51	3. 国立がん研究センター 1	
4. 近畿地方 41		
5. 中国・四国地方 40		
6. 九州・沖縄地方 38		

【問1】ここ1年くらいの間に新しく始めた取り組みについて

意見内容	意見数 (n=429)	意見例
1. 患者・家族活動支援、当事者団体との協働を図った	110	意見例1: ・定期的な患者会やピアサポート事業を実施した。 ・ボランティアによる移動図書事業を開始した。
(内訳)		
1) 患者会や患者サロン、ピアサポート等、患者活動支援関連事業の企画、実施、充実を図った	87	
2) 患者図書館や情報コーナーの設置、充実を図った	12	
3) 患者会や当事者団体等と協働して事業を行った	9	
4) 遺族会関連事業の企画、実施、充実を図った	2	
2. 広報・周知活動に取り組んだ	77	意見例2: ・県内統一のパンフレットやポスター、動画を作成した。
(内訳)		
1) 院内外にむけた広報・周知活動について、一病院の活動として行った	62	
2) 地域に向けた広報・周知活動について、地域関連機関と協働して行った	15	
3. 相談体制の整備が進んだ	58	意見例3: ・相談窓口を一本化し、多職種で連携しての患者サポート体制を強化し
(内訳)		
1) 院内連携により、活動の場を拡充した	26	
2) 院内のハード面が整備された(組織体制、相談室スペースや電話の確保など)	15	
3) 相談員の人員配置が充実した	9	
4) がん相談支援センターの名称変更の準備、実施をした	8	
4. 就労支援に取り組んだ	32	意見例4: ・社士による院内相談や、ハローワークとの連携を始めた。
(内訳)		
1) 就労支援について、院外スタッフ(社士、産業カウンセラー等)を含め、企画、実施、充実を図	26	
2) 就労支援について、院内スタッフにより、企画、実施、充実を図った	3	
3) 就労支援を行う準備をしている	3	
5. 地域活動が充実してきた	19	意見例5: ・地域での出張講演や、出前事業を行った。
(内訳)		
1) 院外活動・地域活動について、企画、実施、充実を図った	13	
2) 関連機関(拠点、小児拠点、地域の医療・福祉機関、行政等)との連携の充実を図った	6	
6. 相談員の質の担保に関連する事業について取り組んだ	15	意見例6: ・がん相談員研修会を行った。
(内訳)		
1) 相談員同士の勉強会や交流会について企画、実施、充実を図った	8	
2) 相談員研修事業について企画、実施、充実を図った	7	
7. 整容についての事業を企画、実施、充実を図った	8	意見例7: ・美容ボランティアによる、Wigの選び方、手入れの仕方、調整の仕方、 眉毛の書き方、つけまつ毛など整容のアドバイスをしている。
8. がんの冊子提供の充実を図った	7	
9. 地域の療養情報冊子や地域情報のまとめについて、企画、実施、充実を図った	7	
10. 相談支援マニュアル類の見直しを行った	5	
11. 相談者からのフィードバックについて企画、実施した	3	
12. 子どもの支援の充実を図った	3	
13. 禁煙支援について、企画、実施、充実を図った	2	
14. 相談体制の評価の企画、実施、充実を図った	1	
15. 職員へのがん患者の理解について啓発活動を行った	1	
16. 相談件数の集計方法の見直しを行った	1	
17. 研究協力を行った	1	
18. 特になし	41	
19. 未記入	34	
20. 他(ここ1年のとりくみではないもの)	4	

【ここ1年で新しく始めたこと】



【問2】現在困難に考えていること

意見内容	意見数(n=429)
1. 新整備指針に関連した体制整備が困難である	79
(内訳)	
1) 相談員のマンパワー不足、人員配置が不適切である	51
2) 新整備指針に関連した業務体制整備が難しい	12
3) がんに特化した看護師など、専門スタッフが不足している	8
4) 緩和ケアの定着や、緩和ケアセンターとの役割分担が難しい	6
5) 名称変更の際し、業務負担を感じる	2
2. 就労支援の進め方に思案している	51
3. 広報・周知に課題がある	42
(内訳)	
1) 広報・周知の仕方に思案している	40
2) 地域活動を行うことが困難である	2
4. がんサロンや患者会、ピアサポーター事業等の患者活動支援を行うことが難しい	36
5. 相談員の質の担保に課題がある	31
(内訳)	
1) 相談員の質の担保や、研修体制整備が難しい	26
2) 研修を修了した相談員の確保が難しい	5
6. 相談者からのフィードバックをどのように取ればいいのかわからない	27
7. 地域関係機関との連携が不十分である	15
8. 希少がんや治験、最新治療の情報提供が不十分である	10
9. 医師から、がん相談支援センターを紹介してもらった体制が整備されていない	9
10. 活用可能な社会資源が少ない	8
11. 院内のハード面が未整備である	8
12. 兼務であるので、業務の両立が難しい	7
13. 相談件数のカウント方法に思案している	5
14. 院内の相談の窓口が煩雑になっている	5
15. 院内連携が難しい	5
16. 図書館や情報提供コーナーが未整備である	3
17. 子どもや若年層への支援に困難を感じている	2
18. グループ指定を受ける場合の相談支援センターの役割が分からない	1
19. たばこに関連する相談への取り組みが難しい	1
20. 相談の評価について思案している	1
18. 特になし	24
19. 未記入	29
20. 他	30

意見例1:
・人員が不十分なか中、新整備指針に関連した業務体制(相談基礎研修3までを受講した専従、専任ともに1名ずつの配置)は制限がきつい

意見例2:
・就労支援の定義が分からない。
・高齢者が患者の大半を占める病院で、就労のニーズがないなか、一

意見例3:
・施設内のスタッフに関する周知が不十分であり、支援が必要な患者家族に相談支援センターの存在が知られていない。

意見例5:
・相談員や県の行政担当者の定期異動などで継続が困難な状況があ

意見例 他:
・<相談支援センター業務>の解釈について
イ…診療機能、入院・外来の待ち時間及び医療従事者の専門とする分野・経歴など地域の医療機関および医療従事者に関する情報の収集、提供している。
→「入院・外来の待ち時間」「医療従事者の…経歴」「医療従事者に関する情報の収集・提供」までを業務として位置づけるのか？実際にはがん対策情報センターのHPIに記載されている範疇の医療従事者ではなく医療機関の情報 情報の収集・提供が現実的であると考える。

ウ…セカンドオピニオンの提示が可能な医師を紹介している。
→「医師を紹介」することを業務として位置づけるのか？医療機関の紹介が現実的と考える。

・相談支援センターの業務については、何をもち「取り組んでいる」「で

【現在業務を行うにあたり困難に思っていること】

